

イスラエルコンボケーション

オープニングセッション ジェーン・ハンセン・ホイト

Jane Hansen Hoyt

Opening Session - Aglow 2019 Jerusalem Convocation

アグローから発せられる音がいつもあります。私がアグローにかかわったのは1970年代、最初の会長エレン・オルセンと次の会長マーガレット・ムーディの時でした。私はマーガレットのアシスタントでした。最終的に、私は暫定的に会長になるように言われました。今も、次の会長を探しているのでしょうか。もうすぐ次の会長が現れるのでしょうか（ジョークです）。

The Sound of Worship 礼拝の音

私は初期のころのアグローをしばしば振り返ります。私は地区会長でした。心に残っているのは礼拝の音です。地区のミーティングで中心となっていたのは礼拝でした。メッセンジャーに時間をあげるために時間を調整して、というようなスピーカー中心ではありませんでした。神が中心でした。礼拝と賛美が中心でした。聖霊の流れに従って動く、ということが始まったころでした。この初期のころを思い起こすと、アグローに語られた預言的な言葉をいろいろ思い起こすのです。こうした預言の言葉は、愛し信頼する私たちの仲間からだけではなく、アグロー以外の私たちの愛し信頼する指導者の声から発していました。

What Do You Want to See? あなたは何が見たいですか？

一年ほど前、本部でディレクターのボードを持っていました。アグローで私たちは何をみたいだろうか、ということをお話していたのです。するとグレンダ・フレミングが質問してきました。「ジェーン、あなたはアグローで何がしたいの？」ボードは、新しい時代にアグローが入っていると感じていました。新しい時代が何を意味するのかを、皆で思いめぐらしていたのです。神はまだアグローを完成の形にしたわけではないことを知っています。この新しい場所で、神はどのように私たちを移行していかれるのでしょうか。

🔑 **アグローのすべてのイベントで重要なのは、神の臨在です。**

チャック・ピアスが言っていたことを思い出してください。アグローがどのように移行するかを神は見られておられると、彼は言いました。

未来に向けて前進する中で、アグローが正しい道をたどっていることを確認できたことは励ましました。この話し合いの中で、グレンダは「ジェーン、あなたはアグローで何が見たいの？」と質問してきたのです。

I Want to See His Presence 神の臨在が見たいのです

私はすぐさま答えました。「私は主の臨在が見たい。」私にとってアグローは、集会を行うだけのものではありません。もちろん、アグローがやっていることには集会も含まれています。集会は、私たちがそこに集中してしまうことのひとつです。それがあなたの活動となってしまって、そこに焦点を当ててしまいます。でも、アグローは、本当は、神の臨在に焦点を当てるのです。

🔑 **アグローは神の臨在がすべてです。今、神は私たちが神の臨在に住むようにと召しておられると信じます。**

「もちろん、私たちは神の臨在に焦点を当てています」とあなたは思うかもしれませんが。ですが、預言の言葉にあったように、神は私たちをより高いところへと召しておられるのです。私が個人的にデボーションで読む本、それは良いものだし、豊かなものです。ところが、いまいち、的を射ていない、あなたもそのように感じたことはありませんか。その本は悪くはないのだけれど、あなたの内で何かが掻き立てられている。かゆいところに手が届かないような、そのような感覚です。それは聖霊です。ある意味、聖霊は私たちを掻き立て、今まで知らなかったことについて私たちが満足しないようにしているのです。これは不平や否定的なことを言っているのではありません。「それは前に聞いた。それはすでにした。」という言い回しを聞くことがあるでしょう？私たちは物を後ろに置いてはいません。私たちは、馴染みを取り去って新しい場所に移り始めているのです。

🔑 **新しい場所に行くとき、古いものは後ろに置いていきます。**

The New Place – A Higher Place 新しい場所——より高い場所

預言の中で語られたより高い場所は、信仰の歩みをする場所となるでしょう。人間の本質として、正しくしたいと思うのが常です。私たちは指導者に目を注ぎます。ほかの人を見ます。一つとなって新しいと思われることをみんなでします。でも、この新しい時代は、あなたの道が神の後を追っているとあなた自身が感じなければなりません。だから、あなたが神と時間を過ごすことが不可欠なのです。

Christ is All キリストがすべて

キリストに焦点を当てたウォッチマン・ニーの本を読みました。『Christ the Sum of all Things (キリストにあってすべてが集められる)』というタイトルです。本の中で、著者は物事について書いています。私たちは忍耐を求めて祈り、備えのために祈り、健康のために祈り、子供たちや、犬や猫のために祈ります。こうした私たちの求める対象となるすべてのもの。

神は、こうした物事を私たちから取りはらおうとしておられます。あなたが失業するとか、食べるものがなくなると言っているのではありません。御霊によって物事を調整する方法が神にはある、と私は言っているのです。神はあなたの焦点を研ぎ澄まし、あなたの前に見えるものが神の御子しかいない、という状態にするのです。すべてなるお方は、神の御子です。彼がすべてのすべてなのです。そこに足されるものはありません。神は私たちに備えを与えてくださいました。それは神の御子です。あなたの救いとあなたが天国に行くことのためだけに、イエスはこの地に来たのではありません。イエスはあなたの人生のすべての面をあがなっておられるのです。その贖いがなされると、あなたは、「そのことは言えない。そこにはいけない。それはできない」と言うようになります。なぜならあなたに調整がなされるからです。イエスは主ご自身のために人々を備えさせるのです。

🔑 **アグローでは、ご自身のために人々を備えます。**

2014年にエルサレムで、トニーと私が体験した話を聞いたことがあります。私たちはコーヒーショップに座っていました。すると、一人の男性が私たちをじっと見ていました。とうとう私たちのテーブルまで歩いてきて、私たち言いました。「あなたが誰かは知りませんが、あなたは神の御国で重要な人です。」彼の言葉は御国の発言であると感じました。彼はこのように言ったのです。「多くの人たちがあなたについて行っていると感じます。私はあなたに言いたいのです。エステルが花嫁として備えるために入っていった時のように、今、あなたの人々が王に会う備えをする時です。」

Prepare to Meet the King 王に会う備えをする

このことを皆さんに話すうえで、恐れを感じて言うのではなく、むしろ、これは適切であるから皆さんにお話ししています。今は、王に会う備えをする時です。誰一人としてその日その時間を知る者はいません。しかし、時のしるしを私たちは読むことができます。物事は動いているのです。

🔑 **アグローにとって、今が王に会う備えをする時です。**

Birtherd by Prayer 祈りによって生まれた

アグローについて先ほど話しました。アグローは初期からスピーカーではなく、いつも主の臨在に焦点を当ててきました。始めからです。そのようにしてアグローは生まれたのです。祈りがアグローの主な焦点でした。これは、年月が経つにつれて増しました。

🔑 **アグローは祈りによって生まれ、祈りによって保たれています。**

祈りは、私たちの人生の前と真ん中に位置を占めています。預言の言葉が語られました。昨年アメリカの全米大会の時だったと思います。ダッチ・シーツは、アグローは祈りの戦士から、国々の城壁に立つ使徒的預言的見張り人へ変わったと言いました。

🔑 **アグローの男性と女性は国々の城壁に立つ、使徒的預言的見張り人です。**

「使徒的」という言葉を聞くと、私たちは皆が使徒ではありませんが、祈りのグループを使徒的覆いが覆っているのです。祈りの目的というのは、未来を覗き込んで、神がしておられること、神が言っておられることを見ます。そして、そこに私たちは祈りこんでいくのです。ですから私たちは使徒的預言的城壁の見張り人なのです。

🔑 **祈りの目的は、未来を覗き込み天の意思と一つとなって宣言することです。**

今回コンボケーションでは、エルサレムに 48 か国が集まりました。アグローは 170 か国にあります。1,2 人いればアグローなので、170 か国以上になるでしょう。自分の国に対する神のビジョンを少なくとも二人が見始めるならアグローになります。小さなグループでもいいです。アッシャー・イントレーターが国について私たちに話したことを思い出してください。神がどのように国を見ているか話してくれました。私たちは自分の目で見て、思います。この政府、この人、これがあれが変わる必要があると。しかし、天の視点で見始めるならば、私たちは神が成し遂げたいと願っていることがわかるので、それを祈りの中で宣言するようになります。

Jeremiah 9:17 エレミヤ 9:17

この言葉はアグローの初期に語られました。読んだらすぐにわかるでしょう。

「よく考えて、泣き女を呼んでこさせ、使いをやって巧みな女たちを連れてこさせよ。彼らを急ぎ立て、私たちのために嘆きの声をあげさせ、私たちの目に涙を滴らせ、私たちの臉に水を溢れさせよ。シオンから嘆きの声が聞こえるからだ。ああ、私たちは踏みにじられ、いたく恥を見た。私たちが国を見捨て、彼らが私たちの住まいを投げやったからだ。女たちよ。主の言葉を聞き、あなたがたの耳は、主の言われる言葉を受け止めよ。隣の女にも哀歌を教えよ。」あなたの娘たちに嘆くことを教えよ。あなたの娘たちに祈り方を教え、天に触れる方法を教えよ。この地で違いをもたらすそのやり方を教えよ。」

🔑 **使徒的預言的祈りを途切れることなく祈りましょう。**

あなたのことは知りませんが、私はベッドの隣にひざまずいて 3 時間いつも祈るということはありません。やむことのない祈りが私の口から出てきます。運転をしているとき、スーパーに行っているとき、日々の仕事に取り掛かるとき、祈りが私の口から出ていきます。チャックが今年初めに言っていました。「私はもはやこの地には生きていません。」チャックが死んだというわけではありません。「私は天で生きています。」そのことが私たちに起こるように祈ります。私たちは天に順応する必要があります。そこに私たちは行くのです。この聖書箇所は、主の言葉を聞いている女性たちについて書いてあります。「あなたの耳を主の語る言葉に向けよ。あなたの娘たちに嘆き方を教えよ。互いに嘆くことを教え合いなさい。なぜなら死が私たちの家に上がってきたから。死によって道から子供たちが取り除かれた。」

公の場所から若い男たちが取り除かれた。だから、嘆く女たちを呼びなさい。」昨晚、このみ言葉が何回となく思い起こされました。私が正しいかどうかわかりませんが、神が言っていると感じます。「彼女たちがここにいる。彼女たちがわたしの都にいる。わたしは彼女たちが嘆き始めるのを聞きたい。」嘆く声が上がるでしょう。怪しいことを話しているのではありません。子どもを生む備えを女性がするとき、女性に起こることについて私は話しています。女性のからだにそのことが起こることは自然なことです。女性は、時が来たことをしり、自分自身をそれにささげるのです。

Hovering of the Holy Spirit 聖霊が漂っている

昨年アメリカ大会でダッチ・シーツが話をしたとき、アグローの上に聖霊が漂っていると語ってくれたことを私は信じます。聖霊が漂っているので生み出すという本質が生じているのです。私たちが生み出すとはどういうことでしょうか。あなた方は、国々からやってきています。あなたは、自分の国で何かを生み出していると感じているでしょうか。教会で、家庭で、子供の内で、孫たちの内で生み出しているでしょうか。私たちの内に何か掻き立てられるものがあり、それは、私たちが嘆くように召している聖霊の呼びかけなのです。この呼びかけはここシオンはから発せられています。

A Key Time in Aglow アグローの鍵となる時代

ダッチは言いました。「今はアグローにとって鍵となる時代です。」この鍵となる時代には、私たちは違った考え方をしなければなりません。古い考え方は私たちから切り取られる必要があります。それは変革の時なのです。ダッチは言いました。アグローは常に光と火として知られてきました。」アグローはどのような国においても最も輝く光の一つです。

🔑 **アグローには古い考え方の場所はありません。**

使徒の働き之初頭—神の霊がすべての人に、息子娘たちに注がれていた—フルゴスペルビジネスマンが始まりました。妻たちは一緒にフルゴスペルの集会に参加しました。奥さんの一人ジョイス・ドフレインが言ったのです。「このような集まりが女性たちにも必要ですね。」

70年代のそのころ、聖霊の温かい動きがありました。覚えているでしょう。デニス・ベネット師が『朝の9時』という本をかいた時代です。彼は米国聖公会の司祭で、聖霊によって人生が変革した人です。その時から、聖霊の動きが世界中に広まりました。私はよく、金曜日の集会に出席しました。私自身聖霊については知っていましたが—教会で育ちましたので—ですが、その時何か違うことが起きている、私もそれが欲しい、と感じたのです。

We Want More of God 私たちはさらに神を求める

私たちは50年以上もの長い間、このところにいるのです。私たちはこれが大好きでしょう！アグローで神がなしてくださったことを宝としています。私たちの人生で神がなしてくださったことを宝としています。ところが今、神がこのように言っている場所に私たちはいるの

です。「これであなたにとって十分か？これで満足しているか？私にはもっとある。もっとアグローに与えたいことがある。」

The Enemy Fears the Apostolic Role of the Woman 敵は、女性の使徒的働きを恐れている

ダッチは続けて言いました。敵が恐れているのは、女性の使徒的役割です。誰が使徒となりうるかについてはありません。使徒的役割は、神が私たちに与えてくださっている場所です。国々のために祈る力を得たいとおもうなら、国々と一つとなりたいなら、神が物事を行おうと思われている場所に対して使徒的感覚を持ち合わせる必要があります。ダッチは言っていました。「女性の使徒的役割は、敵に恐れられている。」なぜ敵が恐れるのかというと、私たちの役割は、「アグローは道備えをしているから」（ダッチ）。「道備えをしている」と言いましょ。アグローはこれから起ころうとしていることの道備えをしているのです。新しい日が起ころうとしています。

🔑 私たちの使徒的役割をとおして、アグローは新しいことへの道備えをしています。

ダッチは、アグローが道備えをするとき、新しい外套が女性に与えられると言いました。そのことを思い浮かべてください。あなたは道を備えています。ところがどこに行くのかはわかりません。つまりこれは信仰と信頼に関することなのです。神は私たちを一つにし続けてくださると信じます。予期せぬことがあちらこちらで起こることはありません。自分たちのことをやるとは思えません。今言われていることに沿って今話していることを、共同体として見ていくでしょう。そうでしょうか？ ですから、この新しい外套は女性の上にかけるのです。なぜなら、女性が道を備えているからです。

ダッチは続けて言いました。新しい外套を引き下ろして着る時です。男性たちはあなたを同じようにみるでしょう。キリストのからだ一つとなっていくことを表しているのでしょう。神は創世の初めから計画されてきました。私はよく言います。創世記3章15節で女性と敵の間に神は敵意を置かれました。神の種と私たちの種の間です。女性からでる種が敵を完全に破滅させるのです。

創世記2章で神がご計画されたことは、神がアダムの孤独を見て良くないと言われたとき、助け手をアダムに送ることでした。神は、アダムとともに歩む女性を作りました。それは、統治するということがどういうことかを世に示すためでした。これが、アグローで起こっていることの大きな部分だと信じています。それはさらに大きくなるでしょう。大きな音をより発するようになるでしょう。響くようになるでしょう。

🔑 アグローは創世の初めに計画された統治がどのようなものであるかをこの地で表す視覚教材です。

Timing is Everything タイミングがすべてです

アグローの声が聞かれなければならない、と何年も言われてきました。おそらく、あちらこちらで今は聞かれているでしょう。しかし、私はアブラハムとサラのことも考えました。二人には息子が与えられるという約束がありました。長い間待ちました。そしてサラはアブラハムに言いました。「ハガルのところに入ってください。何とかしなければいけないのだから。」そうしてイシュマエルが生まれました。それから、再び待つ時間がありました。確か13年待ったと思います。それはとても長い時間に思えます。誰かがあなたに、子供が生まれますよ。と言ったのであれば、「わかった、仕事にとりかかろう！」というところでしょう。私がびっくりするのは、アブラハムが待つ意欲があったということ、しかし、約束がやってきたときサラは笑いました。あなただっただけのように感じるかはわかりませんが、私は、サラの年齢で長い間待っていた、そして約束がやってきた。「来年のこの時期」。この部屋の中には「冗談でしょう！ 私たち長い間待っていたのよ。私はもうそこから外れていると思う。」という人がいるかもしれません。しかし、その待っている時間こそ、神が私たちたちの内にあるものを浮上させ、必要のないものを取り除くのです。

🔑 待つことは隠れていたものを表に出します。

長い間、私たちは聖霊の力強い動きがアグローに再びやってくる、と聞いています。聖霊の証拠を私たちは見えています。私たちが共に集まる、すると主の臨在を感じますね。私たちが礼拝賛美をささげるとき、私たちは喜びます。

A Time for the New 新しいことの時

「今は新しい時代です。あなたはまだ見ていないのです。」と主は言われていると感じます。これは主の臨在に関することです。神が漂っておられることに関してです。神が私たちに生み出されことによって、預言で語られたより高い場所へと私たちを移行させるのです。あなたはこれに同意しますか。昨日ボード・オブ・ディレクターが集まりました。津波がやってくるといったのはノニー・マクベイだったと思います。教会の中に、世界に、キリストのからだに津波がやってくると。アグローに神の栄光の津波がやってくると。

A Time to be Deployed 配備される時

もう一つの言葉は「配備」です。配備されるということは、派遣されるということです。「配備される時は今です。あなたは配置につくのです。あなたは備えができています。」という預言がありました。

A Time for a New Sound 新しい音の時

アイスランドのエタ・スワンは夢あるいは幻を見た、と言っていました。「ラッパを見ました。形の長いラッパです。ラッパの音が鳴り響くのを聞きました。」興味深く感じました。私の兄弟はトランペット奏者です。最近のことですが、インターネットでチェロ奏者のヨーヨ

一マの演奏を聞きました。クリス・ボッティというジャズのミュージシャンも演奏していました。クリスがマウスピースに触れると柔らかい音が流れました。柔らかいけれど大きな音です。音は大きくなったり小さくなったりしました。何回もその曲を聞きました。すばらしいチェロの演奏。慰められる音、心動かされる音でした。そこにトランペットの音が入ってくると、眼に見えるかのように、トランペット奏者とは全く関係なく、クリスがクリスチャンかどうか知りませんでした。そのトランペットの音で天が開かれるのをみることができました。それは何かの前兆なのでしょうか。神が私たちの内を掻き立てられたので、トランペットの音を聞いたことがあるようにしたのででしょうか。

Futuristic Seed Sown to Bring forth New Life 新しい命をもたらす未来の種を植える

最後に、これはすでに手紙で皆さんに書いたかもしれませんが、ですが、繰り返すことは良いことなのでお話しします。アメリカの大会でダッチ・シーツが語ってくれた力強い言葉です。聖霊が漂っているということについて。そしてその漂っている聖霊がどのように生み出すかについて。

さらに続けてダッチは言いました。「アグローは今、生み出す油注ぎの中に入っている。新しい聖霊の動きについて語ってくれました。「アグローは、今の時代、この地で神がなさっておられることの主な働きの一部となっています。」神の御霊が私たちを掻き立てています。神の御霊が私たちを導いておられます。それは、女性のおなかの中の種のようなものです。女性の子宮に植えられた種のようなものです。それを見ることはできません。最初はそれを感じることもできません。しかし、お医者さんが言う通り信仰によってそのおなかの中の種を受け止めるのです。あなたはこどもと一緒にです。未来の種がアグローに植えられてきました。今それをつかむのです。未来の種がアグローに植えられてきました。アグローは、この地で明らかになっている神の計画の不可欠な部分となっていると信じます。

🔑 **アグローは、この地で明らかになっている神の計画の不可欠な部分です。**

ダッチは続けて言いました。「私はアグローが地理的にも霊的にもまさに目的に従った方法で配置されている様子をこの目で見ています。」ここには48か国からやってきた人々がいます。違う音、違う文化を持っている人々です。しかし、一つの共有する文化を持っています。それは、御国の文化です。互いに知っているのです。私たちはみな、神がこれから連れて行くこうとしておられる場所、私たちの将来に焦点を当てているのです。

Called to a Higher Place より高い場所に召されている

今回は、神は、私たちが行くべき道の地図を与えようとしているのではないと思います。違った場所へと、神は私たちを導いておられると思います。それはより高い場所です。ボードミーティングでもその話をしました。今はアグローのリーダーを信頼する時です。ボード・オブ・ディレクターも国のリーダーも、皆、祈りの中で時間を過ごしています。礼拝の中で

時間を過ごしています。そのように私たちのミーティングは毎日始まるのです。礼拝と祈りの時間の延長として始まるのです。

🔑 **アグローのリーダーに信頼と信仰を置く時です。**

聖霊はその道に行くように私たちを促しています。私たちの誰一人として自分の道を行こうとは思わないし、自分のことをやろうとは思っていません。厳しく響かないといいのですが、もしあなたが独立する傾向があるのであれば、間違った働きをしているということになります。神は私たちを共同体として召しています。アグローは教会そのものではありません。四方が壁に囲まれた教会ではありません。アグローは 170 か国以上で生きています。あなたが行くところどこにおいてもあなたは神の臨在を持ち運んでいます。ここで付け加えたいことがあります。どのように言ったらよいでしょうか？あなたは自分の行いを見て、自分が良い、とか、自分が悪い、と言ってはなりません。それは肉によって物事を見ていることになります。あなたは良いのです。あなたは力強いのです。あなたは贖われたものなのです。あなたは、あなたの内に住んでおられるお方のゆえに清められているのです。つまり、あなたがどうのこうのではなく、あなたの内に住んでおられる方がすべてなのです。

🔑 **私たちが与えられている者はすべて、キリストにあって与えられているのです。**

キリストは静かに私たちの内に働いて、天と私たちが一つであり続けるようにしてくださっています。神は神と私たちが一つとなり続けるようにしてくださいます。私たちが求めるのは、善い行いだけではありません。私たちが求めるのはキリストです。キリストの御霊を求めます。この地でキリストご自身が再生されるのを望みます。私たちはこの地に生きています。神の子供、神の弟子、神に従う者として。神を礼拝し、賛美をささげる者として。今私たちは神の故郷にいるのです。私たちは何か新しいものを見るでしょう。おそらくここから始まるでしょう。新しいものを探してください。新しいことが起ころうとしていると聞いて、それを作り出してはなりません。神にしてくださいませ。神がしてくださると、誰もそれを疑う人はいなくなります。それは超自然的です。主よ、私たちは見えています。見えています。期待をもって私たちは待っています。

あなたは私たちと一緒にです。偉大な方法で私たちにご自身を表したいと願っておられます。ですから、聖霊様あなたを歓迎します。私たちと共にここにいてくださって、今この時間、あなたの方法を私たちになしてください。私たちはあなたを礼拝します。あなたを敬います。あなたは賛美を受けるにふさわしい方です。もう一度言います。聖霊様、来続けてください。なぜなら、御霊の新鮮な油注ぎがあるからです。私たちは過去 50 年間の功績で進むのではありません。私たちは、全くの新しい聖霊の油で満たされて進みたいのです。それはあなたも望んでおられることです。ですから、主よ、感謝します。礼拝を感謝します。あなたを高く上げることができたことを感謝します。この部屋、オーバーフロールームにいる一人一人、ウェブキャストに参加している人、皆に同じ聖霊がこのミニストリーを通して流れています。

すべての国において新鮮な油が注がれています。光はより輝いて、深さはより深くなっています。真理は最適な方法で爆発しています。今日が新しい日です。アグローの新しい時代です。皆で感謝をささげます。

(2019年11月 翻訳：山本聖美)